

## 令和2年6月定例会 市議会でのあれこれ

令和2年第2回菊池市議会定例会は、6月5日から6月26日まで22日間開催されました。

今回の補正予算では、**7億6千万円**が追加され、一般会計予算の総額は**335億円**になりました。  
主なものとして教育費に**3億1,500万円**が計上されました。

今議会から常任委員会の編成があり、私は**総務文教常任委員会**に所属することになりました。

今回の一般会計補正予算の中でも、総務文教分科会で審議する教育費の増額補正の主なものは、小学校費に**2億1,138万円**。中学校費に**1億221万円**で、補正額の大半(95%)が、全生徒・児童に配布されるタブレット4,005台(小学校に2,699台、中学校に1,306台)の購入費です。

私は総務委員会で、ICT教育関連でもあるGIGAスクール構想は、国からの強い要請だと思うが、補正を組んででも今すぐに行う必要があるのか?確かに新型コロナによる学校の休校時の授業の一環として活用できると思う。

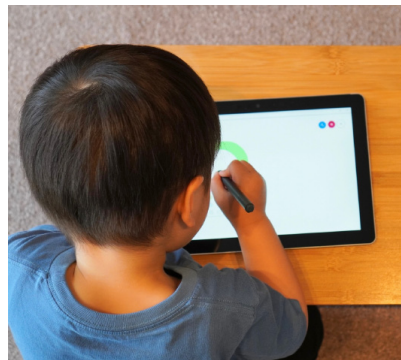
しかし、各家庭のWi-Fi環境も把握できてなく、セキュリティの問題やどのようにタブレットを活用していくのか?

4,005台のタブレットを購入して、1人1台配布することは決まっているが、それ以外のことが漠然としている。何らかのイメージができる計画書があれば開示してほしい。

今回は国からの補助もありタブレット購入とのことだが、買い替えやランニングコストの問題等、今後厳しい状況になるのではないかと懸念する。

今度の新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金の大部分は、このGIGAスクール構想の予算に充てられている。

しっかりと計画を立てて効果的に活用するよう意見しました。



## コロナ禍で中止になった費用は?

全員協議会において、当初予算時にさまざまなイベントの費用に関して承認をしていますが、新型コロナウイルスの影響により中止されたものや、今後、中止予定や中止を決定しているイベントが多々あります。

執行部からは、イベントの中止に伴う減額を約3,300万円(46事業)と伝えられましたが、もっと多い金額になると思われます。

計画されていたイベントの中止によって浮いた費用を新型コロナ対策費用に充てるべきとの理由から、**執行部に中止が決定しているものや検討中のイベントの一覧表を要求しましたが、**なぜか現時点では出せないとの回答でした。

## 議会は飾り物!?

定例会の最終日に追加補正予算として、10案件約3億8,000万円提出されました。本来であれば定例会開会初日に提出され、委員会に付託して十分議論すべきです。

**わずか1時間の審議で約4億円の税金の使途**を決めるのが議会として妥当でしょうか。チェック機能でもあるべき議会ですが、執行部寄りの議員も散見され、執行部からは議会を軽視してるとも受け取れる事案も少なくありません。

## 前議長が任期を全うせず辞職!

6月定例議会の冒頭で、柁原議長が「**議長職は多忙のため**」と耳を疑うような理由で議長辞職を申し出られました。

議長および副議長の任期は、議員の任期によるとされていますので、4年ということになります。(地方自治法第103条)

菊池市議会では議長交代制をとっていませんので、法定どおり4年が任期です。ただ、病気その他やむを得ない事由により辞職の場合はあり得ます。しかし、今回の理由は「**多忙**」の一言です。

議長は辞めても議員は続けられるとのことですので、「**議員は多忙じゃない?**」という意味でしょうか?

議長辞職に反対しましたが、数の論理(賛成13、反対5)で押し切られました。



令和2年6月議会 vol.7  
Kikuchi city council member Report

# 市政 活動通信

## 福島ひでのり

菊池市政に民間企業での経験を!

意思決定・政策のチェックの場に  
培った視点を活かします

新型コロナショックにより、さまざまなイベントが中止になっております。

当然、後援会活動を含め、大勢のみならず少人数での集まりも自粛している状況において、議員としての活動も控えざるを得ません。

経済は落ち込み、市民生活も不安の中、議員報酬および期末手当の**3割カット**を**9か月間**行う議員提案を賛成議員として提出しました。

議員報酬カットによる**約4千万円**の財源を**新型コロナ対策に充てる**ことも含めた提案です。

しかし、残念ながら賛成少数(賛成:4、反対:14、棄権:1)により否決となりました。

こういう時こそ市民と痛みを共有する議員でありたいと思います。



## Profile

- 1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ
- 1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
- 1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
- 2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
- 2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人(同和JEM)代表理事副社長
- 2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
- 2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選(1期目)



連絡先  
〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1  
TEL: 090-5288-2466 (携帯)  
発行者: 菊池市議会議員 福島 英徳



# 市民の声を市政に活かす 一般質問

## 七城温泉ドームの料金値上げや営業時間を短縮する理由は？

**福島：**5月の月例会で、利用料金の値上げと営業時間の短縮を通知されましたが、どのような経緯で決定されたのか説明をお願いします。

**経済部長：**均一なサービス提供のため現在の44名では不足しており、6名の従業員の早期確保のため、時給アップ等人件費の見直しが必要。また三セクが負担する50万円未満の施設の修繕・工事費が増える見込みであり、消費税の増税も要因となっている。

**福島：**改めて七城温泉ドームを設立された当初の目的をお示しください。

**経済部長：**地域住民の憩いの場として、健康・福祉の充実はもちろん、地域の活性化を目的とする。

**福島：**当初の目的に対して、現状は乖離していると感じます。三セクとしての利益追求は当然だと思いますが、温泉ドームは市民のための福祉施設でもあるわけですよね。

今回の一般質問の通告をした後、市民の複数の方から温泉ドームのフリーパス券の廃止通知に対して、廃止しないでほしいとの切実な要望を受けました。

フリーパス券を導入した目的をお示しください。

**経済部長：**フリーパス券は、15年前に導入した。他の近隣施設では回数券を販売しているので廃止に至った。

**福島：**利用料金の値上げ、営業時間の短縮、フリーパス券の廃止理由として、増税および諸物価高騰を挙げられていますので、温泉ドームを管理する七城町振興公社の経営状況について、過去3年分の決算書を確認いたしましたが、3年間黒字決算です。黒字決算にもかかわらず、利用料の値上げ等を行う必要性をご説明ください。

**市長：**前年度は大幅赤字で、今年も大幅赤字が見込まれている。

料金に関しては、値上げしても360円であり近隣の三セク施設よりも安い。また、営業時間も午前10時から翌朝7時までの21時間営業がコスト高の大きな要因になっているため、閉館を午前1時まで短縮することとした。それでも近隣の比較施設と比べても頑張っていると思う。

しかし、経営努力だけでは厳しくなってきたため、今回の料金値上げと営業時間短縮に関しては理解を求める。

**福島：**近隣の施設が行っていないからこそ、差別化としても継続するべきではありませんか？

貸借対照表からも、かなり健全な経営だと判断されます。毎年100万円以上の交際接待費を計上されているのも気になりますし、毎月開催されている取締役会が市民のために機能しているのかも疑問です。

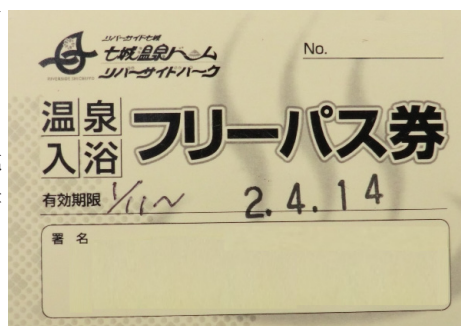
中小企業の経営者が、うらやむような健全経営でありながら、利用料金の値上げと営業時間の短縮、そしてフリーパス券の廃止は、市民のための福祉施策に逆行した行為ではありませんか？

「サービスは高く、負担は低く」が市民に示してきた合併の合言葉です。

新型コロナウイルスにより、不景気になる危険性があり市民に安らぎを与える施設が必要な、そんな時だからこそ利用料金の値上げの廃止、営業時間を従来に戻す、そしてフリーパス券の廃止撤回を強く求めますが、市長の考えを再度聞かせてください。

**市長：**利用料金の値上げは十分ヒヤリングして納得したうえで、長期安定経営のため既に議会承認もっており再考する理由はない。

また、営業時間の短縮に関しても公的近隣の三セクに比べて十分に地元配慮した時間帯だと考える。



## べんりカーとあいのりタクシーについて

**福島：**過去4年間のあいのりタクシー利用者数は横ばいで、べんりカーに関しては毎年減少しています。令和元年12月議会の一般質問時の答弁では、要因分析において利便性の向上や周知不足を上げられ、今後は周知方法を改善していくとのことでしたが、不便だから利用しない理由もあるでしょうし、利便性の向上が最課題だと考えます。

そこで、あいのりタクシーおよびべんりカーを導入した目的についてお聞かせください。

**政策企画部長：**市街地を巡回するべんりカーは、市街地の住民や市街地の外から来られる方々の交通手段の確保を目的としており、あいのりタクシーは路線バスの空白地域における交通手段の確保を目的とする。

**福島：**その目的は達成されたとお考えですか？

**政策企画部長：**平成16年に本格運行を開始し、交通施策の優良事例として、平成22年度には国土交通大臣賞を受賞し視察も相次いだ。

利用者数の大きな増加には至っていないが、一定の利用者数もあり交通手段の維持確保という観点から、導入目的は達成したと考える。

**福島：**利用者数は年々減っており、目的が達成されたかどうかは、甚だ疑問です。

地域公共交通とは、地域住民の思いをくみ取ったサービスであるべきだと思います。

市長からは、本市の独自の公共交通事業に関して様々な分析や検討の結果、現在の体系があると自信をもって答弁されてこられました。

これまでに、どのような分析や検討が行われて現在の体系に至ったのかを、具体的にお示しください。

**市長：**過去には泗水桜山地区と光の森を結ぶバスの実証運行なども行ったが、想定よりも利用率が大変低く、定期路線としての定着は困難といった経緯もある。

高齢者が増えている中、自宅玄関から目的地までドア・ツウ・ドアで運行できるあいのりタクシーが現実としてはベストな手段だと考える。

今年度は利便性の向上と利用拡大を図るため、民間の基金を活用して泗水地区におけるあいのりタクシーの予約アプリ実証事業を実施する。

こうした現状や実証事業の効果を踏まえ、地域交通体系の必要な見直しを進めていきたい。また、運行経費が増加傾向にある補助による路線バスについては、関係市町村との調整をしながら見直しを図りたい。

**福島：**さまざまな分析や検討をした結果、現在の体系に至ったという答弁としては、私は不十分だと思います。

交通弱者の増加や高齢者ドライバーによる事故の多発など、社会状況は刻々と変化しています。

先ほどの答弁にもありましたが、令和2年度の施政方針で、公共交通については利用者の利便性を図るため、べんりカーの運行データ調査や、アプリ・タブレットを利用したあいのりタクシー予約システムの実証事業を行うと述べられました。

このような取り組みが、分析であり検討ではないのでしょうか？

再度アンケート調査を実施して、市民の声を聞く必要性は私はあると思います。

その市民の声を真摯に受け止め実行に移すのが、ニーズをくみ取ることではありませんか。困っている市民の方々のために、公共交通事業の本来あるべき姿を本気で目指すべきです。

べんりカー・あいのりタクシーの他に、路線バス補助を含めて利便性を上げるための改善など、地域交通体系を見直す考えがあるのかをお聞かせください。

**市長：**泗水におけるタクシー予約アプリ実証事業などを踏まえて、地域交通体系の必要な見直しを進めたい。

